



1月の園だより

令和3年度 いぬかいこども園 No.10

あけましておめでとございます



2022年の幕開けです。皆様にとって幸多き一年でありますようお祈りいたします。昨年も引き続き新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。その脅威は未だ衰えず、新種の変異株により深刻な影響を与え続けています。そのような厳しい状況下ではありますが、三回目のワクチンの接種も始まり、特効薬も開発される等、明るい光も見えてきています。終息の日もそう遠くないのではないかと期待を込め一年のスタートとしましょう。本年もよろしくお祈りいたします。

今年度も残すところ3ヶ月となりました。この時期は、各クラスとも総まとめの大切な時期です。子どもたちも少しずつ、進級・卒園を意識しているようです。子どもたちが今まで培った力を十分に発揮し、確かなステップを踏めるように、また、残りの時間が充実した日々になるように、職員一同力を合わせて教育保育を行っていきたいと思います。一層のご理解とご協力をお願いいたします。これから、寒さも一段と厳しくなりますが、体調管理を十分に行いながら、この時季ならではの遊びを存分に楽しんでいきたいと思ひます。

行事予定

4日(火)	保育始め
5日(水)	1号保育始め
12日(水)	鏡開き
20日(木)	餅つき
25日(火)	身体計測(未満児)
26日(水)	身体計測(以上児)
27日(木)	誕生会
28日(金)	避難訓練



2021・12・18
いぬかいこども園の
リーダー さくら組

クラス懇談会・給食試食会のお知らせ

2月12日(土) めばえ・つぼみ・つくし組

2月26日(土) たんぼぽ・すみれ・さくら組

*今後の状況次第では変更もあり得ます。
詳細は別紙にてお知らせします。



食が子どもの発達にもたらすもの

生まれてから幾度となく重ねていく、食事の時間。子どもたちが得ているのは栄養素とカロリーだけ？
いえいえ、人として生きていくために必要な、あらゆる“栄養”を蓄えているのです！

自己理解・自立心を育む

「食べたい」「食べたくない」「このおかずをこれくらい食べる」などといった主体的な選択の積み重ねを通して、自己理解が深まり、自分で決めて行動する自立心が養われる。

手指の発達

食事は、手指を動かすトレーニングになる良い機会。手で食べ物をつかんで食べる事から始まり、徐々にスプーンや箸を使うようになり、手指の巧緻性が高まる。

言葉の発達

食事の時間は、リラックスして周囲の人とやり取りができるひととき。自分の思いを言葉にしたり、相手の話を聞いたりすることが、言葉の発達につながっていく。



社会性の発達

食事の時間には、普段関わりの少ない友達と隣り合わせになることも。様々な相手と関わる中で、その人に興味を持ったり、相手の個性を認めたりして、人間関係を広げていく。

自己肯定感を育む

目の前のものを体に取り込んだ満足感、嫌いなものを少しでも食べられた成功体験、保育者に「よく食べたね」と言ってもらった経験などが自信につながり、自己肯定感を育む。

道徳性・規範意識の芽生え

日々の食事に感謝したり、一緒に食べる相手が不快にならないよう配慮したり…。食事のマナーを通して、他者を思いやり、自ら必要性を感じてルールを守ることを学んでいく。

身体の発達

食事で十分なエネルギーや偏りのない栄養素を摂取することで、子どもの身体の成長を促すだけでなく、病気にかかりにくい健康な体をつくる。